第5章　まとめ

第1節　条里型地割について

尾端遺跡周辺域の条里型地割の状況について少し触れる。対象地の北方654 mの地点には推定南海道が東西に延びる。また、西方220mには旧山田郡と三木郡の郡界線が南北に延びる。その南海道及び郡界線を基に、北方の南海道周辺は規格的に条里型の地割が配されているが、第104図でもわかるように、尾端遺跡周辺は蓮池の西岸から平田池方向に延びる埋設谷、蓮池より吉田川方向に延びる埋設谷及び本遺跡の立地する南北方向の低丘陵が地形を乱し、現在の地形より条里型の地割を復元するのは困難である。

平成8・9年度の調査段階では、「周辺に残る地割線を延長することにより本遺跡周辺及び対象地内を通る坪界線を復元すれば、南海道より6町目（里界）に当たる東西の坪界線（坪界線A[本報告のSD10・61]、N10°　E）及び二条の南北の坪界線（坪界線B・C[本報告のSD58・59]）が復元できる」とした。しかし、調査概報でも触れているように、「南北の坪界線のうち、坪界線Cは先に触れた地形の制約によるものと考えられ、南西方向に歪み、1町（109 m）四方の方格地割にはなりえていない」。その中より坪界線に合致する遺構、及びそのラインに規制を受けたと考えられる遺構を積極的に抽出すれば、「①地割溝群[本報告のSD10・16～18・21など]、②SD29[本報告のSD58]・30、③SD03[本報告のSD65]等の溝状遺構が挙げられる」としている。第105図1は、本遺跡の遺構確認面のコンターライン図である。本遺跡が、南北に伸びる尾根の西側斜面に位置することから、コンターラインが比較的整然と南北に描かれる。これは、本遺跡で確認された溝状遺構がこのコンターラインと直行する形で設けられていることも、地形的には合理的な設けられ方であったといえる。また、部分的に平坦面を作り出しており、こうした面に掘立柱建物跡が確認され、掘立柱建物跡が必ずしも条里型地割方向に合致しないことにも留意する必要がある。

以上のことから、本遺跡で確認される「建物、溝状遺構の方向」が、一概に条里型地割を意識したものと即断できず、地形的な制約のもとに形作られた可能性もあり、本報告では判断を留保せざるを得ない。

第2節　遺構の変遷

本遺跡で確認された遺構については、第3章第3節で記述した。全体的に遺物量が少なく、時代が特定される遺構は限られている。遺構の重複関係や方向性、包含層との対比にも留意して遺構の変遷について概観する。第105・106・107図は、本遺跡における遺構の変遷図である。

なお、時期区分については本文でもふれたように、 三木町小谷窯跡出土須恵器の編年（信里2002)で使用されている飛鳥・平城の編年で補っている。

Ⅰ　弥生時代終末期～古墳時代前期

この時期に比定できるのはSD36のみである。Ⅲ区で検出されたが、Ⅴ区側に伸びない。Ⅴ区側では削平された可能性が高い。また、この時代の遺構が北側に広がる可能性もある。

Ⅱ　古代

①　飛鳥Ⅰ（7世紀第1四半期）

この時期の遺構も単発で、SK02のみである。集落遺跡としては成立していない段階と考えられる。

② 様相1（7世紀第2四半期）

この時期から集落が形成され始める。Ⅱ区で検出されたSB04とⅠ区・Ⅱ区にまたがるSD11がこの時期である。SB01もSB04と同一方向であること、近接することから同一時期の可能性が高いと判断している。集落の中心は北側調査区外に伸びるものと考えられる。

また、SX04はこの時期の遺物が出土しているが、後述するSX05から派生するSD53とつながることから、SX05と同一時期の様相4の時期の可能性もある。

③ 様相2（7世紀第3四半期）

SD09は、SD10と重なり全体像は明らかではないが、この時期の唯一の遺構である。遺物の出土はないが、SD06はSD09と同一方向にほぼ並行して伸びることから、同一時期と推定している。

また、方向性や前段階のSB01・SB04とSD11のあり方に類似することから、SB02・SB03もこの時期の建物跡と推定できるのではないだろうか。

④ 様相3（7世紀第4四半期）

この時期にはSB08・SB14・SX01が見られる。SB08と同規模・同方向のSB07もこの時期と考えられる。この時期になって、丘陵の高い地点に集落が広がる傾向が出始めたと考えられる。最上部にあるSB14は調査区内では単独の検出であるが、丘陵の先端部（北側）に同時期の建物跡が広がる可能性が高い。

⑤ 様相4（8世紀初頭）

SB10・SB11・SD10・SD16・SD17・SD18・SD20・SD21・SD27・SD52・SD53・SD54・SX05がこの時期に比定される遺構である。建物跡がいくつかの平坦面に見られ、出水遺構と考えられるSX05が検出されたことから居住環境の整備が進んだものと考えられる。また、SD10・SD16・SD17・SD18・SD20・SD21など、畠区画と考えられる溝群も検出されており、生産域の一部も整備されたと考えている。SD27やSX05との位置関係を踏まえてSB05・SB06・SX03も同一時期と推定される。また、SB12もSB11と同一方向で近接することから同一時期と思われる。

⑥ 平城Ⅱ（8世紀前半）

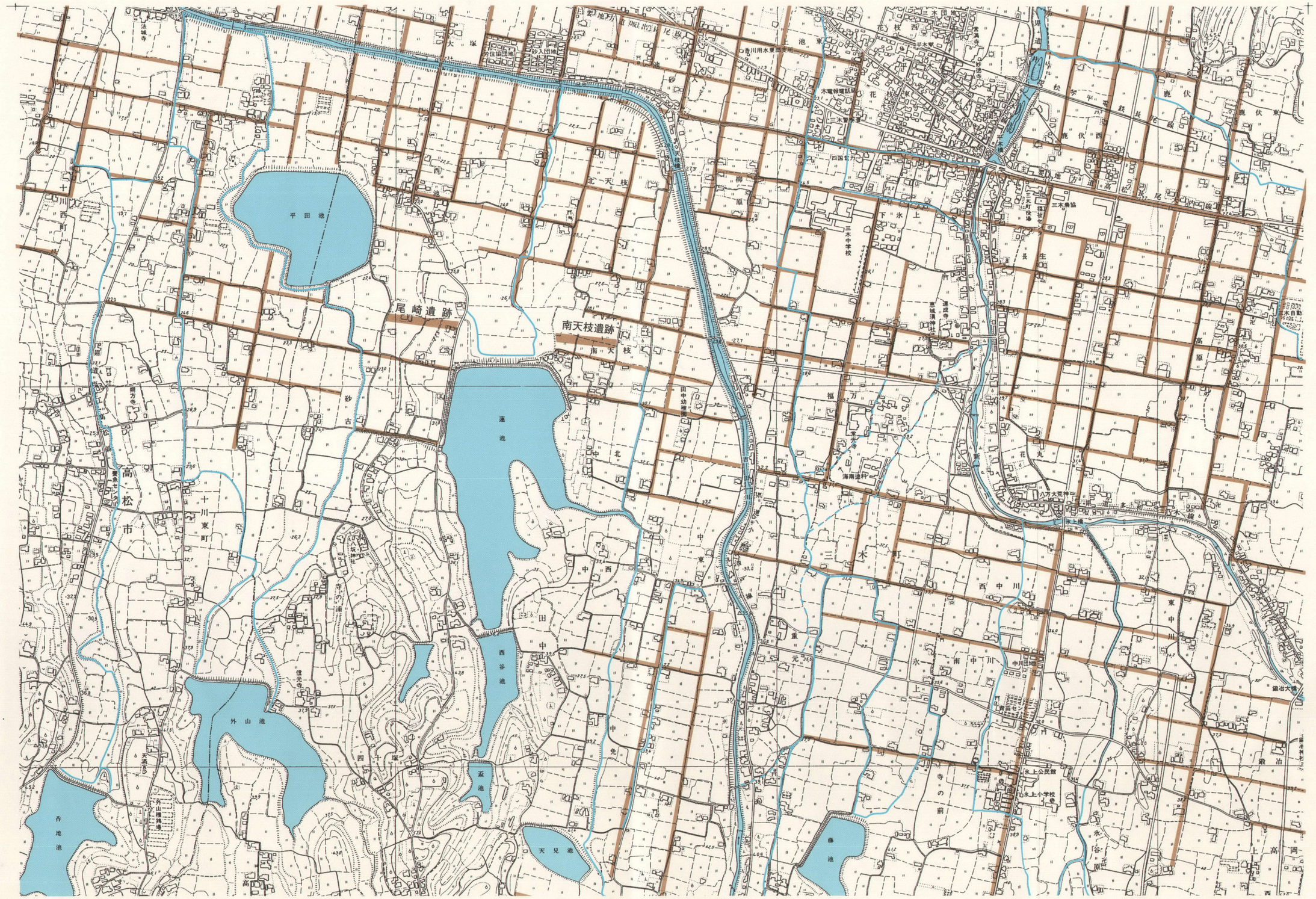
この時期にはSD65のみとなり、他の遺構は検出されていない。集落の廃絶段階と考えている。

Ⅲ 近　　世

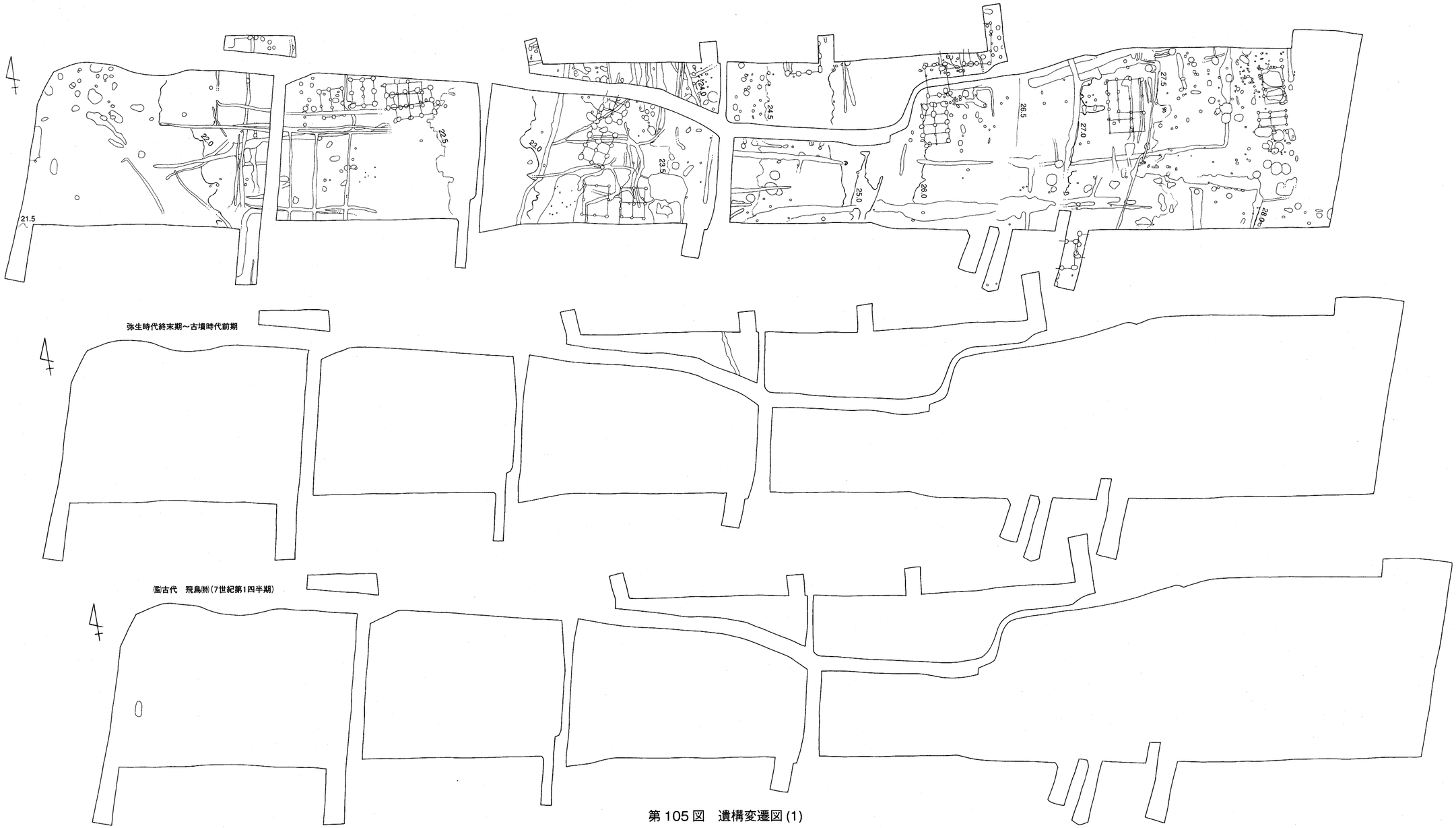
近世になると、SB18・SB19・SD33・SD61・SD79・SD90・SD95・SK11・SK57・SK63・SK79・SK80・SK81・ST01・ST02・ST03・ST04・ST05・SE01・SE02・SX07等の遺構が検出されており、丘陵頂部に集中している。周辺の溝群との関係からSB17もこの時期の所産と考えられる。丘陵頂部には、ほぼ南北に墓が並んでおり、土坑として取り上げたものの中にも墓が含まれている可能性が考えられる。

以上のように、本遺跡は低丘陵上に営まれた7世紀後半～8世紀初頭を中心とする集落跡であるが、丘陵を横断する形での調査であるため、南北への広がりは不明である。集落の構成も、丘陵上に造成されたテラスを中心として形成されているため、建物跡の密集は確認できていない。総柱建物跡が相対に多いことから倉庫群の可能性も残されている。このことは、生活雑器である土器の出土量が少ないことからもうかがえる。今後の周辺調査により、本遺跡の性格がより明確になることを期待したい。

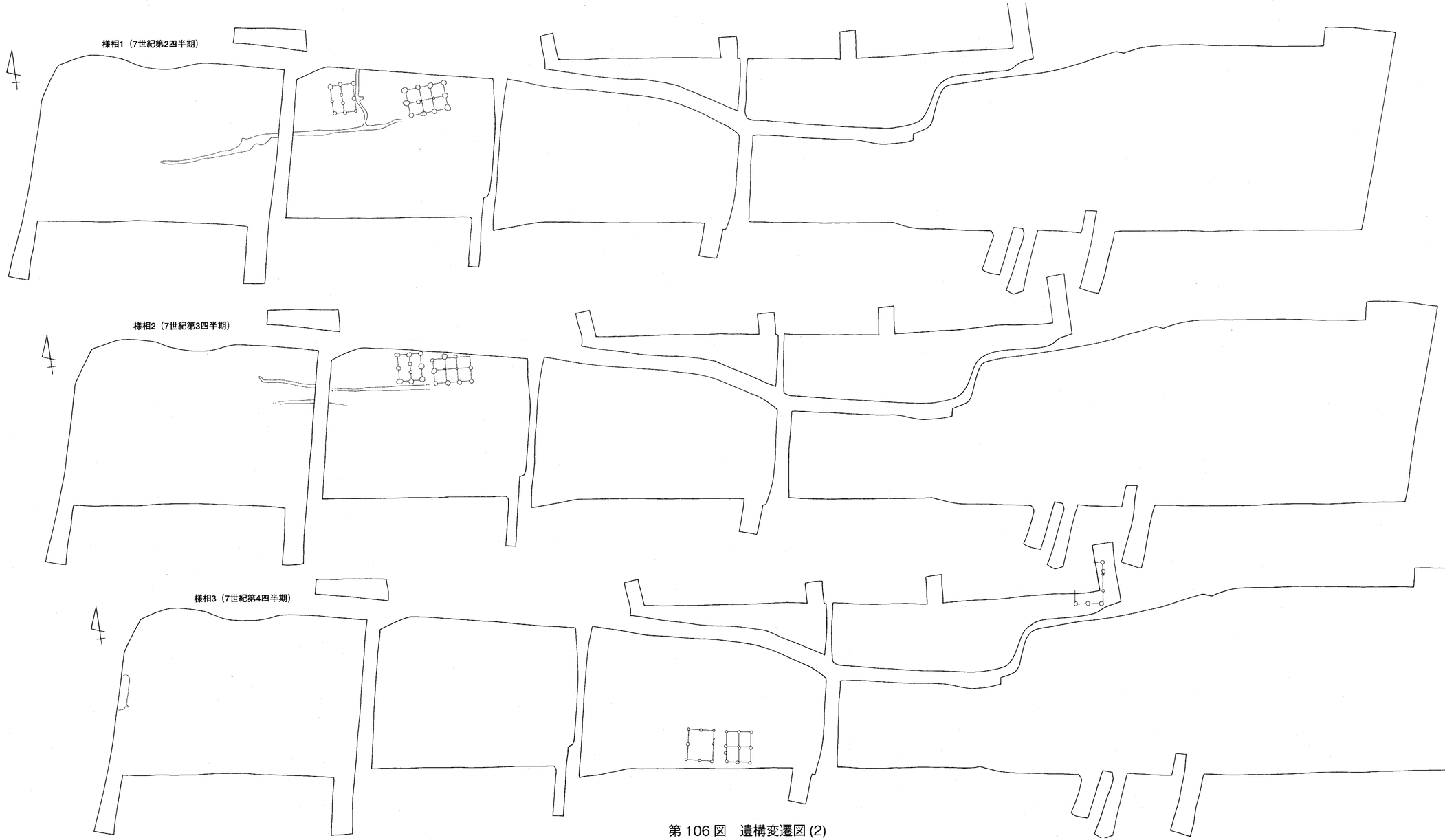
また、近世の墓等については今後の検討を待たねばならないが、墓地の形成とこれに付随する建物の性格を特定させる材料が検出されていない状況であり、可能性の指摘に留めざるを得ない。



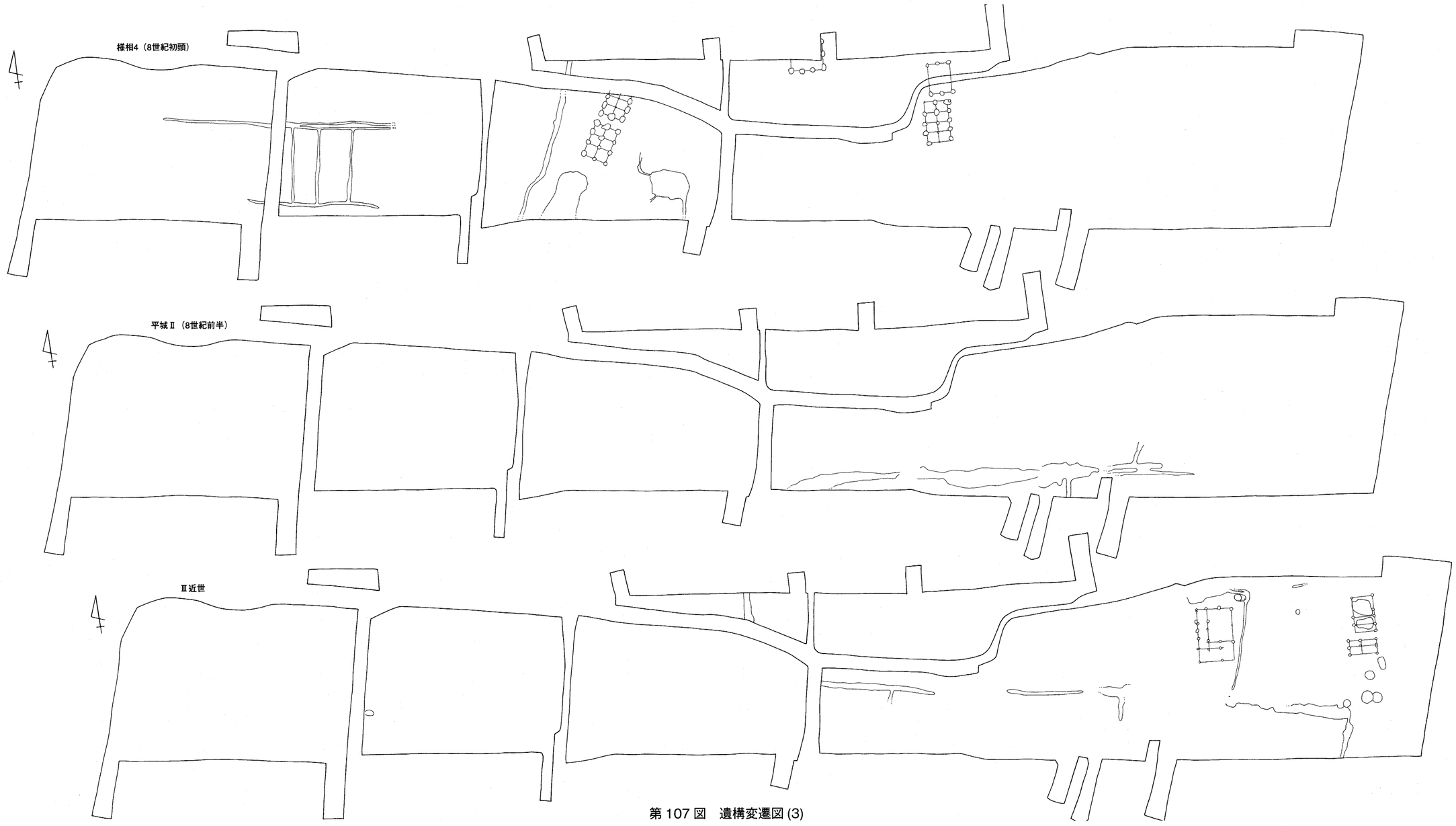
第 104 図　周辺の条里型地割



第 105 図　遺構変遷図 (1)



第 106 図　遺構変遷図 (2)



第 107 図　遺構変遷図 (3)

第5表　土器観察表

遺物番号	遺構名	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)(つまみ径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
2	SB03		土製管玉	1.1	2.2					Ⅱ-d区A-8SB02(SP57)
3	SB04	須恵器	高坏				回転ナデ・沈線2条	回転ナデ	4/8	Ⅱ-d区A-9⑭SP0020
14	SB08	須恵器	坏	14.8	3.9	8.0	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	2/8	Ⅱ-c区B-6⑫SB03SP0074
15	SB10	須恵器	坏蓋	13.5			回転ナデ	回転ナデ	小片	Ⅱ-b区A-4②SP0010
16	SB10	須恵器	杯			11.6	回転ナデ	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-b区A-4⑦SP0009
17	SP246	須恵器	杯			6.0	回転ナデ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-b区A-9⑧SB03SP0023
18	SB14	須恵器	坏	13.8			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-b区A-4⑧SB01SP0011
19	SB14	須恵器	杯			6.5	ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-b区A-9⑤SB01SP0018
20	SB14	須恵器	杯蓋	14.6			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-b区A-4⑤SB01SP0018
21	SB19	土師質土器	焙烙	49.1			ナデ・指頭痕	ナデ・板ナデ	1/8	Ⅱ-a区A-2①SP0142
22	SP38	須恵器	高杯？	13.0			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-d区A-9⑭SP0014
23	SP157	須恵器	壺			5.6	手持ちヘラケズリ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-b区A-4⑥SP0037
24	SP236	肥前系磁器	鉢			4.8	回転ナデ	蛇ノ目釉ハギ	底径5/8	Ⅱ-a区A-2①SP0094
25	SP314	土師質土器	有高台深鉢			22.0	摩滅	刷毛目後ナデ	底部周辺	Ⅱ-a区A-2①SP0141
26	SD12	須恵器	甕	20.7			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-d区B-9⑯SD05
27	SD09、10	須恵器	坏身	11.9			回転ナデ	回転ナデ	1/8	Ⅱ-d区A-8⑭SD04・SD20トレンチ
28	SD09、10	須恵器	坏	11.0			回転ナデ	回転ナデ	1/8	Ⅱ-d区A-8⑭SD04・SD20トレンチ
29	SD11	須恵器	杯蓋	12.6	4.9		回転ヘラケズリ・回転ナデ	回転ナデ	4/8	Ⅱ-d区A-8⑭SD06
30	SD11	須恵器	杯蓋	13.8					口径2/8	Ⅱ-d区A-9⑯SX02
31	SD11	須恵器	有蓋高坏	11.4	6.7	8.5	回転ナデ・ヘラケズリ	回転ナデ	7/8	Ⅱ-d区A-8⑭SD22
32	SD11	須恵器	平瓶	5.7			回転ナデ	回転ナデ	口径6/8	Ⅱ-d区B-9⑯SD06№.2
33	SD11	須恵器	坏身	9.2			回転ナデ	回転ナデ		Ⅱ-d区A-9⑯SX02
51	SD22	土師器	甕	19.8			回転ナデ	刷毛目	口径1/8	Ⅱ-d区B-9⑮SD15
53	SD33	施釉陶器	行平鍋	15.6					口径1/8	Ⅱ-c区A-6⑩SD05
54	SD33	瀬戸・美濃系陶器	錆椀			4.2			3/8	Ⅱ-c区A-6⑩SD05
55	SD33	肥前系磁器	広東碗			6.0			底径2/8	Ⅱ-c区A-6⑪SD05
56	SD36	土師器	鉢	9.2	2.9	5.5	摩滅	摩滅	7/8	Ⅱ-c区A-6⑩SD02№.2
57	SD36	土師器	小型丸底壺	8.8	8.0	3.0	ナデ・刷毛目	刷毛目・指頭痕・板ナデ	7/8	Ⅱ-c区A-6⑩SD02№.1
59	SD61	陶胎染付	碗			4.9	ナデ	ナデ	底径2/8	Ⅱ-a区B-3①SD22
60	SD74	中国産白磁	碗			6.2	回転ナデ		底径3/8	Ⅱ-a区B-3①SD26
61	SD65	須恵器	甕	26.7			回転ナデ	回転ナデ	口縁部破片	Ⅱ-a区B-4⑥SD27
62	SD65	須恵器	甕	18.7			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-a区B-5⑨SD27
63	SD65	須恵器	長頸瓶			8.8	回転ナデ	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-a区B-5⑨SD27
64	SD65	須恵器	壺			11.5	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-a区B-4⑥SD27
65	SD65	須恵器	杯			10.6	回転ナデ	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-a区B-4⑥SD27
66	SD65	須恵器	杯			12.8	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り	底径1/8	Ⅱ-a区B-5⑨SD27
67	SD65	須恵器	杯			9.2	回転ナデ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-a区B-5⑨SD27
68	SD65	須恵器	坏			8.7	回転ナデ	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-a区B-5⑨SD27
69	SD65	須恵器	坏			11.0	回転ナデ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-a区B-3①SD27
70	SD65	須恵器	壺			11.6	回転ナデ	回転ナデ	底部2/8	Ⅱ-a区B-3①SD27
71	SD79	焼締陶器	ミニチュア甕(身)	4.4	3.7	3.3	ナデ・施釉	ナデ・施釉	8/8	Ⅱ-a区B-2①SD03
71	SD79	焼締陶器	ミニチュア甕(蓋)	3.6	0.9		ナデ	ナデ	8/8	Ⅱ-a区B-2①SD03

遺物番号	遺構名	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)(つまみ径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
72	SD79	須恵器	杯			8.9	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	1/8	Ⅱ-a区B-2①SD03
73	SD90	瓦質土器	鉢			27.7	摩滅・回転ナデ	摩滅・刷毛目	底径1/8	Ⅱ-a区A-2①SD12
74	SD92	瓦器	椀			4.1	ナデ・横ナデ	摩滅	3/8	Ⅱ-a区A-2①SD02
75	SD95	肥前系磁器	端反碗			4.0			底径4/8	Ⅱ-a区B-2④SD03
76	SD95	瀬戸・美濃系陶器	広東碗			5.0			底径8/8	Ⅱ-a区B-2④SD13A群
77	SD95	瀬戸・美濃系陶器	広東碗	10.2					口径2/8	Ⅱ-a区B-2④SD13
78	SD95	肥前系磁器	蓋	4.3	3.0	10.5			底径1/8	Ⅱ-a区B-2④SD13
79	SD95	瓦質土器	鉢	14.5	10.0	14.8	波状文・刷毛目	回転ナデ	2/8	Ⅱ-a区B-2④SD13
80	SD95	瓦質土器	羽釜	24.8			ナデ・指頭痕	ナデ・刷毛目・摩滅	7/8	Ⅱ-a区B-2④SD13B群
81	SD95	瓦質土器	羽釜	20.0			横ナデ	板ナデ	1/8	Ⅱ-a区B-2④SD13
82	SD95	瓦質土器	羽釜				ナデ	ナデ	体部破片	Ⅱ-a区B-2④SD13A群
83	SD95	土師質土器	火消壺蓋	29.6			回転ナデ・刷毛目	回転ナデ	1/8	Ⅱ-a区B-2②SD03
84	ST01	土師質土器	深鉢			36.0	剥離・刷毛目	ナデ・指頭痕後ナデ	底径6/8	Ⅱ-a区A-2①SX01
85	ST02	土師質土器	深鉢	32.5	34.5	26.0	横ナデ・ナデ・板ナデ	横ナデ・ヘラ状工具痕・指頭痕後板ナデ	6/8	Ⅱ-a区A-2①SX02
86	ST03	肥前系磁器	端反碗	10.0			回転ナデ	回転ナデ	口縁部破片	Ⅱ-a区A-1①SX03
87	ST03	肥前系磁器	端反碗	10.0			回転ナデ	回転ナデ	1/8	Ⅱ-a区A-1①SX03
89	SK02	須恵器	杯蓋	13.8			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-d区B-10⑰SK04畔はずし
90	SK11	陶器	鉢			8.6	回転ナデ	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-d区B-9⑭SK11
91	SK57	肥前系陶胎染付	碗	9.0			回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	Ⅱ-a区A-2①SK23
92	SK57	肥前系陶胎染付	碗	10.3	7.4	4.0	回転ナデ	回転ナデ	5/8	Ⅱ-a区A-2①SK23
93	SK57	肥前系磁器	皿	12.0	3.7	3.9	回転ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-a区A-2①SK23
94	SK57	肥前系陶器	皿	21.2	7.4	7.0			2/8	Ⅱ-a区A-2①SK23
95	SK57	土師質土器	羽釜				ナデ・指頭痕	刷毛目	体部破片	Ⅱ-a区A-2①SK23
96	SK57	瓦質土器	焙烙	38.4			横ナデ・指頭痕・指頭痕後板ナデ・刷毛目	横ナデ・刷毛目後ナデ	2/8	Ⅱ-d区A-2①SK23
97	SK57	瓦質土器	焙烙	40.4			ナデ・指頭痕・刷毛目	ナデ	口径7/8	Ⅱ-d区A-2①SK23
98	SK63	軟質施釉陶器	鉢			7.2	回転ナデ	回転ナデ	底径5/8	Ⅱ-a区B-2④SK26
99	SK63	瀬戸・美濃系陶器	広東碗	10.8			回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	Ⅱ-a区B-2④SK26
100	SK63	肥前系陶器	鉢			9.0	回転ナデ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-a区B-2④SK26
101	SK63	瓦質土器	焙烙	44.2			回転ナデ	回転ナデ	口縁部破片	Ⅱ-a区B-2④SK26
102	SK79	肥前系磁器	小鉢	7.2			回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	Ⅱ-a区B-2①SK05
103	SK79	瀬戸・美濃系陶器	火入れ・香炉			9.0	回転ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-a区A-2①SK05
104	SK79	瓦質土器	羽釜	19.0	12.0		指頭痕後ナデ	板ナデ	口径2/8	Ⅱ-a区A-2①SK05
106	SK80	肥前系磁器	端反碗	10.5	6.2	3.9	回転ナデ	回転ナデ	7/8	Ⅱ-a区B-2④SK22
107	SE01	肥前系陶器	刷毛目鉢			10.4	回転ナデ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-a区A-2①SE02
108	SE01	肥前系磁器	瓶			9.9	回転ナデ		6/8	Ⅱ-a区A-2①SE02
109	SE01	施釉陶器	土瓶蓋	9.4	3.0	7.3	回転ナデ	回転ナデ	口径7/8	Ⅱ-a区A-2①SE02
110	SE01	堺・明石系	摺鉢	36.4			回転ナデ	回転ナデ・スリ目	口径1/8	Ⅱ-a区A-2①SE02
111	SE02	瀬戸・美濃系陶器	腰錆碗	9.7					口径1/8	Ⅱ-a区B-2①SE01
112	SX01	須恵器	杯	13.8	3.9	9.0	摩滅	摩滅	口径1/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
113	SX01	須恵器	鉢			8.4	回転ナデ	回転ナデ	底径5/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
114	SX01	須恵器	杯	11.8	4.1	10.0	回転ナデ・回転ヘラ切り後回転ナ	回転ナデ	5/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
115	SX01	須恵器	盤			11.8	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	底径4/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01

遺物番号	遺構名	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)(つまみ径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
116	SX01	須恵器	短頸壺	10.2			回転ナデ	回転ナデ	4/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
117	SX01	須恵器	短頸壺	11.7			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
118	SX01	須恵器	長頸壺	11.0			回転ナデ・沈線2条	回転ナデ	1/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
119	SX01	須恵器	平瓶				回転ナデ	回転ナデ	体部径3/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
120	SX01	須恵器	壺蓋？			(1.0)	回転ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-c区A-7⑫SX01
121	SX03	須恵器	高杯				回転ナデ・沈線1条	ナデ	7/8	Ⅱ-c区A-6⑫SX03
122	SX04	須恵器	甕				回転ナデ	回転ナデ	体部2/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX05
123	SX04	須恵器	高杯				回転ナデ	回転ナデ	5/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX05
124	SX05	須恵器	杯	12.8	3.9	9.0	回転ナデ・ヘラ切り・ヘラ記号	回転ナデ	1/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
125	SX05	須恵器	杯	14.4			回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
126	SX05	土師器	杯	11.0	2.5	8.0			1/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
127	SX05	土師器	杯	15.2					1/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
128	SX05	須恵器	杯	12.8			回転ナデ	回転ナデ	1/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
129	SX05	須恵器	杯	18.0			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
130	SX05	須恵器	杯	13.8	4.0	9.2	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り	2/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
131	SX05	須恵器	壺			9.0	回転ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
135	SX07	京・信楽系陶器	瓶					回転ナデ	頚部～体部3/8	Ⅱ-a区A-3①SX06
136	包含層	弥生土器	壺	11.6	19.5	6.3	摩滅・ナデ・刷毛目・ヘラミガキ	摩滅・ナデ・指頭痕	7/8	Ⅱ-d区A-7⑬包含層土器№1
137	包含層	須恵器	杯身	10.2			回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-d区A-10⑰包含層(黒色粘土層の上位の土層)
138	包含層	須恵器	杯			10.8	回転ナデ	回転ナデ・回転ヘラ切り	底径2/8	Ⅱ-d区A-9⑯包含層Ⅱ26層
139	包含層	須恵器	杯			10.2	回転ナデ・ナデヘラ切り	回転ナデ	1/8	Ⅱ-d区A・B-10⑰包含層Ⅱ26層
140	包含層	須恵器	杯			10.5	回転ナデ	回転ナデ・回転ヘラ切り	底径2/8	Ⅱ-d区A・B-10⑯包含層Ⅱ26層
141	包含層	須恵器	杯、盤			13.4	ナデ	ナデ・ヘラ切り	底径5/8	Ⅱ-d区A-9⑯包含層
142	包含層	須恵器	皿	17.8	2.4	13.8	回転ナデ・火襷・回転ヘラ切り	回転ナデ	口径1/8	Ⅱ-d区B-9⑯包含層
143	包含層	須恵器	鉢			8.2	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-d区A-10⑰包含層(黒色粘土層の上位の土層)
144	包含層	須恵器	椀	9.0	5.1		回転ナデ・回転ヘラケズリ	回転ナデ	3/8	Ⅱ-d区B-10⑰包含層Ⅱ27層
145	包含層	須恵器	杯	14.8	4.3	10.8	回転ナデ	回転ナデ	1/8	Ⅱ-c区A-6⑫包含層(下がり)Ⅱ⑬層Ⅱ⑲
146	包含層	須恵器	甕				ナデ・波状文5条1単位・削り出し突	回転ナデ	小破片	Ⅱ-c区A-6⑫包含層(下がり)Ⅱ⑬層Ⅱ⑲
147	包含層	須恵器	長頸壺			10.0	回転ナデ	回転ナデ・回転ヘラ切り	底径3/8	Ⅱ-c区B-6⑫包含層Ⅱ⑬層Ⅱ⑯層
148	包含層	須恵器	甕	35.4			回転ナデ・櫛先刺突文・波状文	回転ナデ	口縁部破片	Ⅱ-c区B-6⑫包含層Ⅱ⑬層中央ﾄﾚﾝﾁ(包含層)
149	包含層	須恵器	壺蓋	13.2	3.3	1.8	回転ナデ	回転ナデ	4/8	Ⅱ-c区B-6⑫包含層遺構面直上(ｶﾞﾘｶｹ)
150	包含層	須恵器	杯			8.4	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-c区B-6⑫中央ﾄﾚﾝﾁ包含層
151	包含層	須恵器	杯			11.0	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底径2/8	Ⅱ-c区B-6⑫包含層Ⅱ⑬層
152	包含層	須恵器	甕				波状文・回転ナデ	回転ナデ	小破片	Ⅱ-c区B-6⑫包含層Ⅱ⑬層
153	包含層	須恵器	杯	14.2	4.0	9.3	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	1/8	Ⅱ-c区A-7⑫包含層
154	包含層	須恵器	杯	8.8	5.5	5.6	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	4/8	Ⅱ-c区A-7⑫包含層Ⅱ③層Ⅱ⑥層
155	包含層	土師器	皿	21.6			摩滅	摩滅	1/8	Ⅱ-c区A-7⑫包含層Ⅱ③層・Ⅱ⑥層
156	包含層	須恵器	有蓋高杯蓋			(3.2)	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	6/8	Ⅱ-c区A-7⑫包含層Ⅱ③層Ⅱ⑥層
157	包含層	須恵器	杯	12.9	3.7	9.0	回転ナデ・ヘラ切り後ナデ	回転ナデ	2/8	Ⅱ-c区A-6⑫包含層Ⅱ③層
158	包含層	須恵器	甕				波状文	回転ナデ	破片	Ⅱ-c区A-6⑫包含層Ⅱ③層
159	包含層		土管	8.0			ナデ後刷毛目	摩滅	体部破片	Ⅱ-c区A-7⑪包含層

遺物番号	遺構名	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)(つまみ径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
160	包含層	土師器	鞴羽口				摩滅	摩滅	破片	Ⅱ-c区A-7⑫包含層
161	包含層	須恵器	杯			7.0	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	1/8	Ⅱ-c区A-7⑪北側溝
162	包含層	須恵器	杯	14.0	1.9	11.6	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	2/8	Ⅱ-c区B-6⑫進入路部分重機による包含層掘削
163	包含層	須恵器	杯蓋	14.6			回転ナデ・ヘラ切り後回転ナデ	回転ナデ	1/8	
164	包含層	須恵器	高杯			9.4	回転ナデ	回転ナデ	底径1/8	Ⅱ-c区A-6⑩北側溝
165	包含層	緑釉陶器	瓦						破片	Ⅱ-c区A-7⑪北側溝

第6表　石器観察表

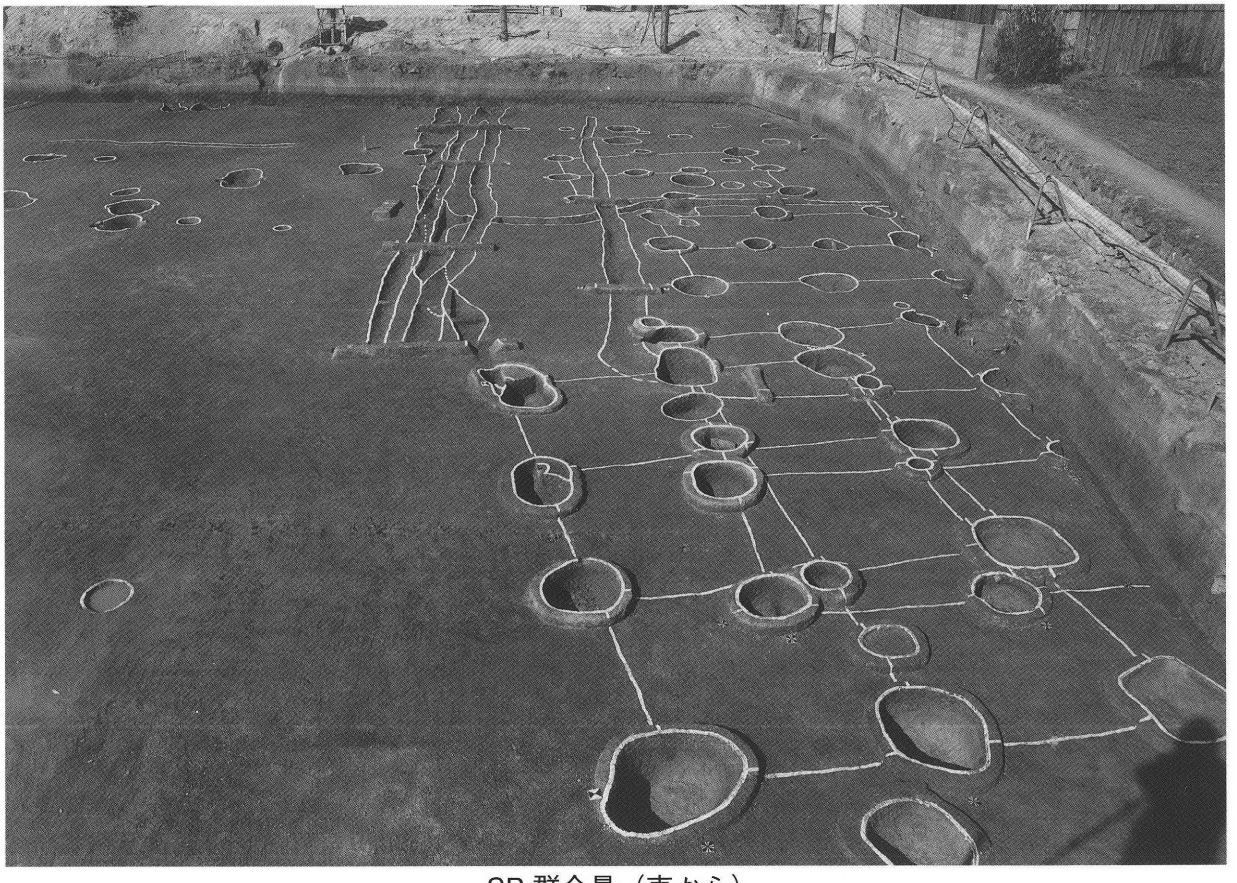
遺物番号	遺構名	器種	現存長	最大幅	最大厚	材質	旧遺構名
52	SD27	楔形石器	4.1	2.9	0.8	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-c区B-7⑫SD10
58	SD43	石鏃	2.2	1.6	0.3	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-c区B-6⑫SD13
88	ST05	磨製石斧？	6.4	3.8	2.1	結晶片岩	Ⅱ-a区B-2①SK16
105	SK79	不明石製品	14.8	12.0	5.7		Ⅱ-a区B-2①SK05
166	包含層	石鏃	2.5	2.4	0.5	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-d区B-9⑯Ⅲ⑥直上
167	包含層	石鏃	2.3	1.8	0.5	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-c区B-6⑫包含層
168	包含層	石鏃	1.9	1.3	0.2	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-b区A-5⑧北壁面ｶﾞﾘｶｹ
169	包含層	有舌尖頭器、石鏃	5.1	2.2	0.6	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-d区B-10⑯包含層Ⅱ26層
170	包含層	石鏃	3.4	2.1	0.7	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-c区中央ﾄﾚﾝﾁ包含層Ⅱ⑬層
171	包含層	石庖丁	5.9	8.5	1.2	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-d区B-10⑰包含層Ⅱ26層
172	包含層	二次調整のある剥片、スクレイパー	8.2	5.5	1.1	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-c区A-6⑩包含層Ⅱ②層・Ⅱ③層
173	包含層	二次調整のある剥片	3.7	4.9	1.4	ｻﾇｶｲﾄ	Ⅱ-c区B-6⑫包含層Ⅱ⑰層

第7表　木製品観察表

遺物番号	遺構名	器種	現存長	最大幅	最大厚	木取り	旧遺構名
1	SB02	柱材	42.5	9.0	8.0	芯持ち材	Ⅱ-d区SB03SP54
4	SB04	斎串	9.4	2.7	0.8	芯持ち材	Ⅱ-d区A-8⑭SB01SP24
5	SB04	斎串	20.9	3.7	0.4		Ⅱ-d区A-8⑭SB01SP24
6	SB04	柱材	46.2	11.5	10.0		Ⅱ-d区A-8⑭SP28
7	SB04	柱材	24.4	11.6	11.2	板目	Ⅱ-d区A-8⑭SB01SP26
8	SB05	柱材	26.6	8.4	4.6	芯持ち材	Ⅱ-c区A-6⑫SB01SP50
9	SB06	柱材	68.8	14.7	11.3	芯持ち材	Ⅱ-c区A-7⑫SB02SP07
10	SB06	柱材	66.2	13.3	11.4	板目	Ⅱ-c区B-7⑫SB02SP08
11	SB06	柱材	66.7	14.3	11.2	板目	Ⅱ-c区B-7⑫SB02SP09
12	SB06	柱材	50.8	12.7	13.1	柾目	Ⅱ-c区A-6⑫SB02SP51
13	SB06	柱材	38.3	15.0	11.0	板目	Ⅱ-c区A-6⑫SB02SP55
34	SD11	木樋	149.3	18.9	6.5	芯持ち材	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.14
35	SD11	木樋	140.8	14.7	6.7	柾目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.15
36	SD11	木樋	48.4	5.0	2.5	柾目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.13
37	SD11	不明	16.0	4.3	2.5	板目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.11
38	SD11	板材	31.6	6.7	4.0	板目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.6
39	SD11	板材	45.2	10.0	3.0	板目	Ⅱ-d区A-10⑯SX02№.9
40	SD11	板材	44.0	5.8	3.6	芯持ち材	Ⅱ-d区A-10⑯SX02№.7
41	SD11	板材片	14.8	9.1	5.1	板目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.11
42	SD11	板材片	22.1	9.8	2.5	板目	Ⅱ-d区A-10⑯SX02№.8
43	SD11	角材	34.9	3.0	2.6	柾目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.12
44	SD11	板材	38.2	4.6	2.9	柾目	Ⅱ-d区SX02
45	SD11	板材	40.2	9.3	4.3		Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.4
46	SD11	板材	44.8	7.6	5.0	柾目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.1
47	SD11	杭	19.8	4.6	4.3	柾目	Ⅱ-d区B-10⑯SX02№.18
48	SD11	板材片	17.4	3.0	1.4	柾目	Ⅱ-d区A-9⑯SX02№.12
49	SD11	板材片	13.6	2.6	1.7	板目	Ⅱ-d区A-10⑯SX02№.5
50	SD11	斎串	15.5	2.9	0.4	芯持ち材	Ⅱ-a区B-2④SD13A群
132	SX05	斎串	12.7	1.6	0.4	芯持ち材	Ⅱ-c区B-6SX02
133	SX05	不明木製品	23.8	3.4	1.4	芯持ち材	Ⅱ-c区B-6⑫SX02
134	SX05	斎串？	23.9	1.4	0.4	柾目	Ⅱ-c区B-6SX02

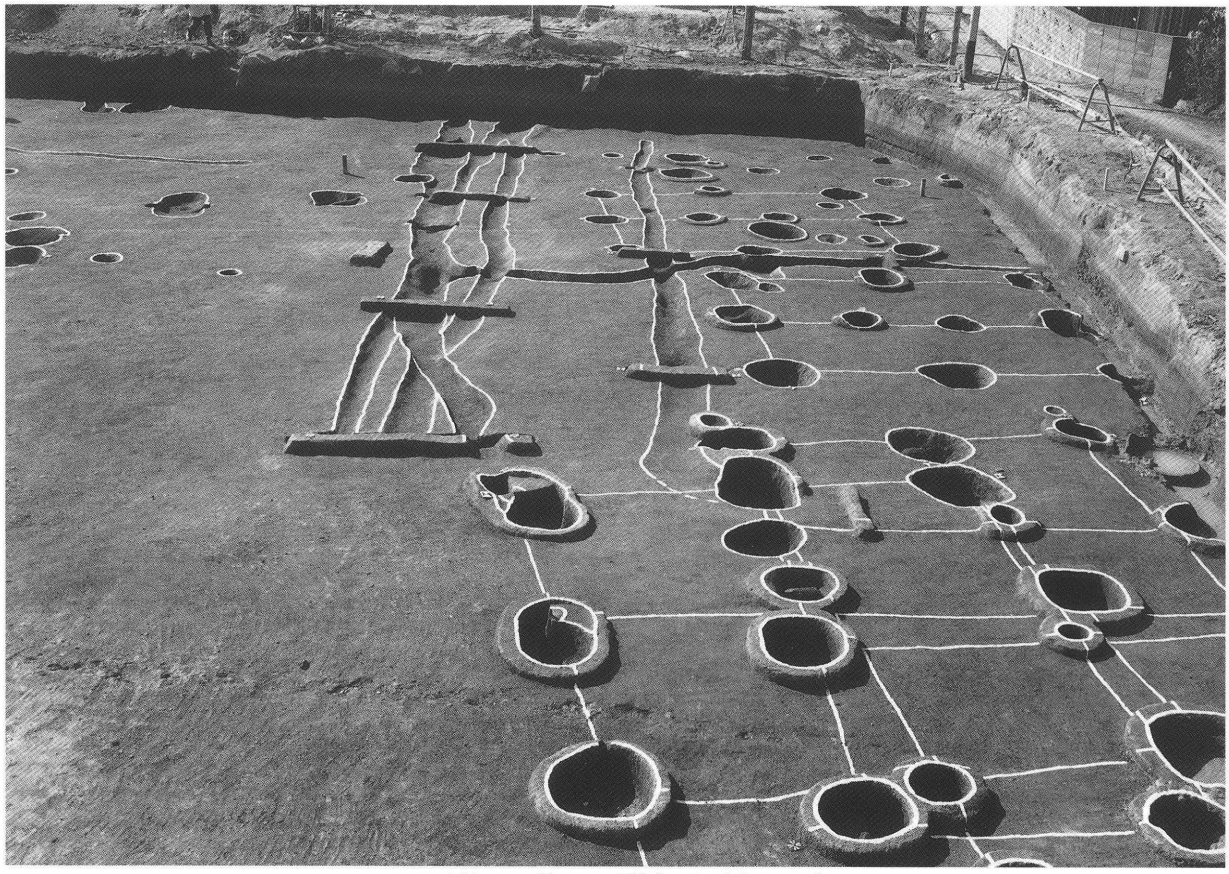
図　　版

SB 群全景（西から）



SB 群全景（東から）

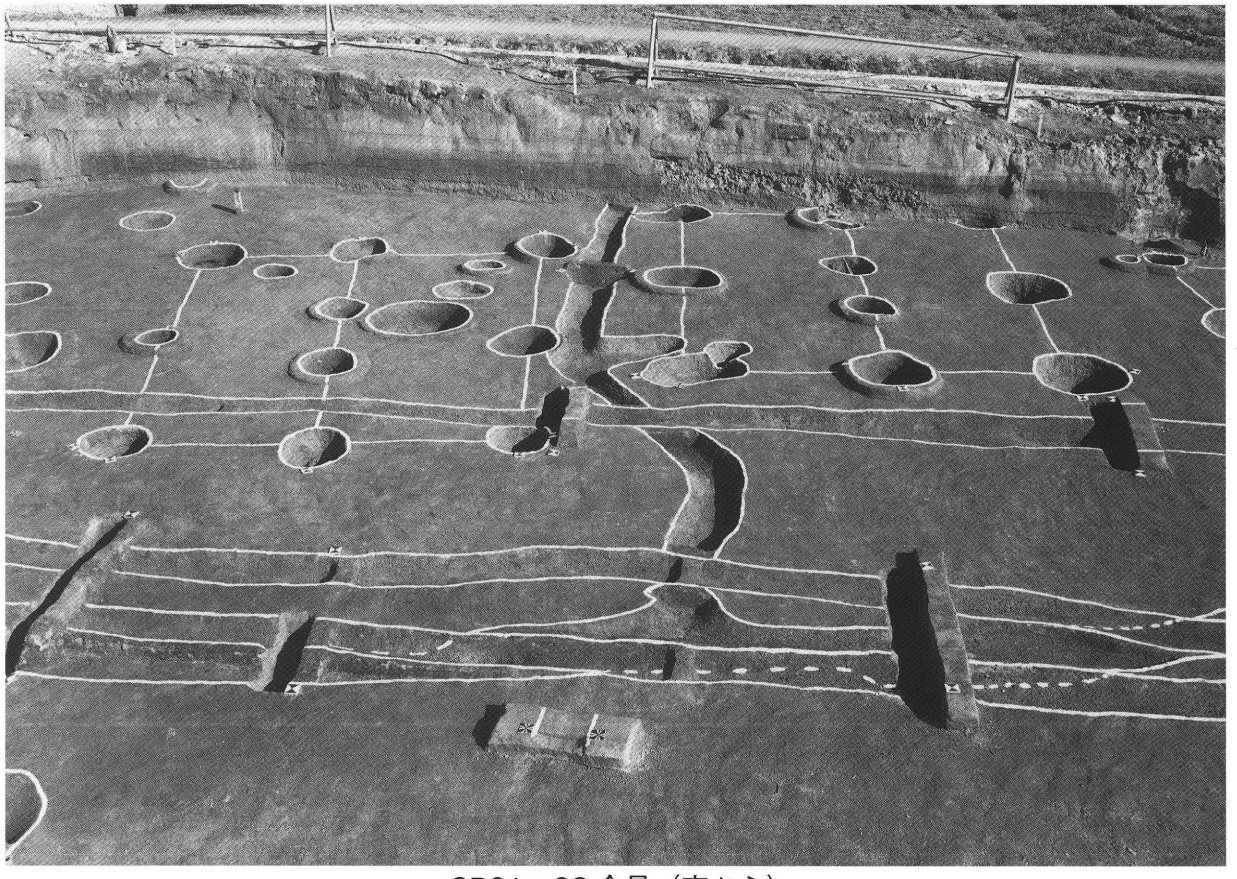
図版２



SB 群・下位 SD 群全景（東から）

SB01・02 全景（西から）

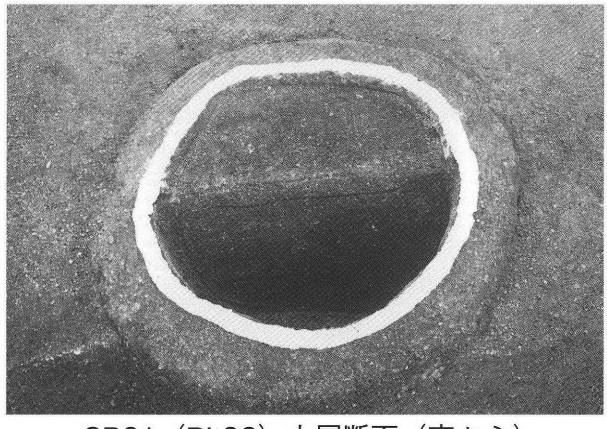
SB01・02 全景（南から）



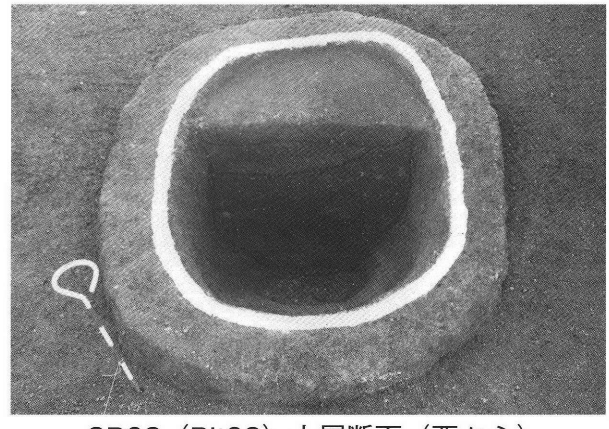
SB01・02 全景（南から）

図版４

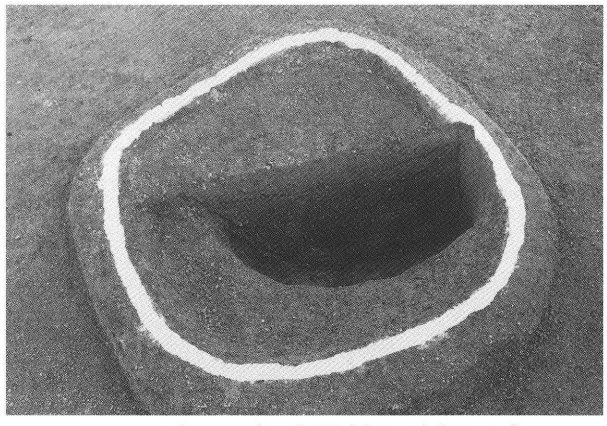
SB01 全景（南から）



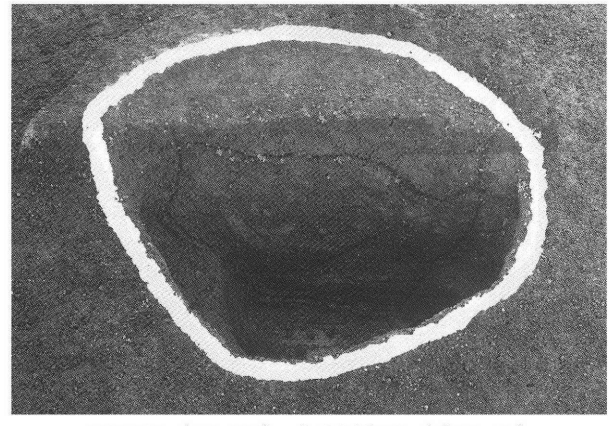
SB01（Pit06）土層断面（東から）



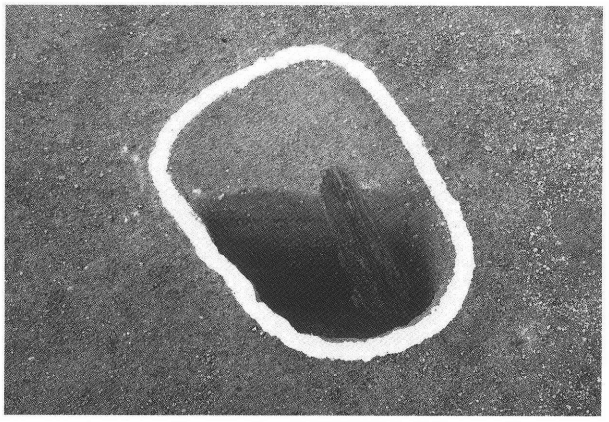
SB02（Pit02）土層断面（西から）



SB02（Pit04）土層断面（南から）

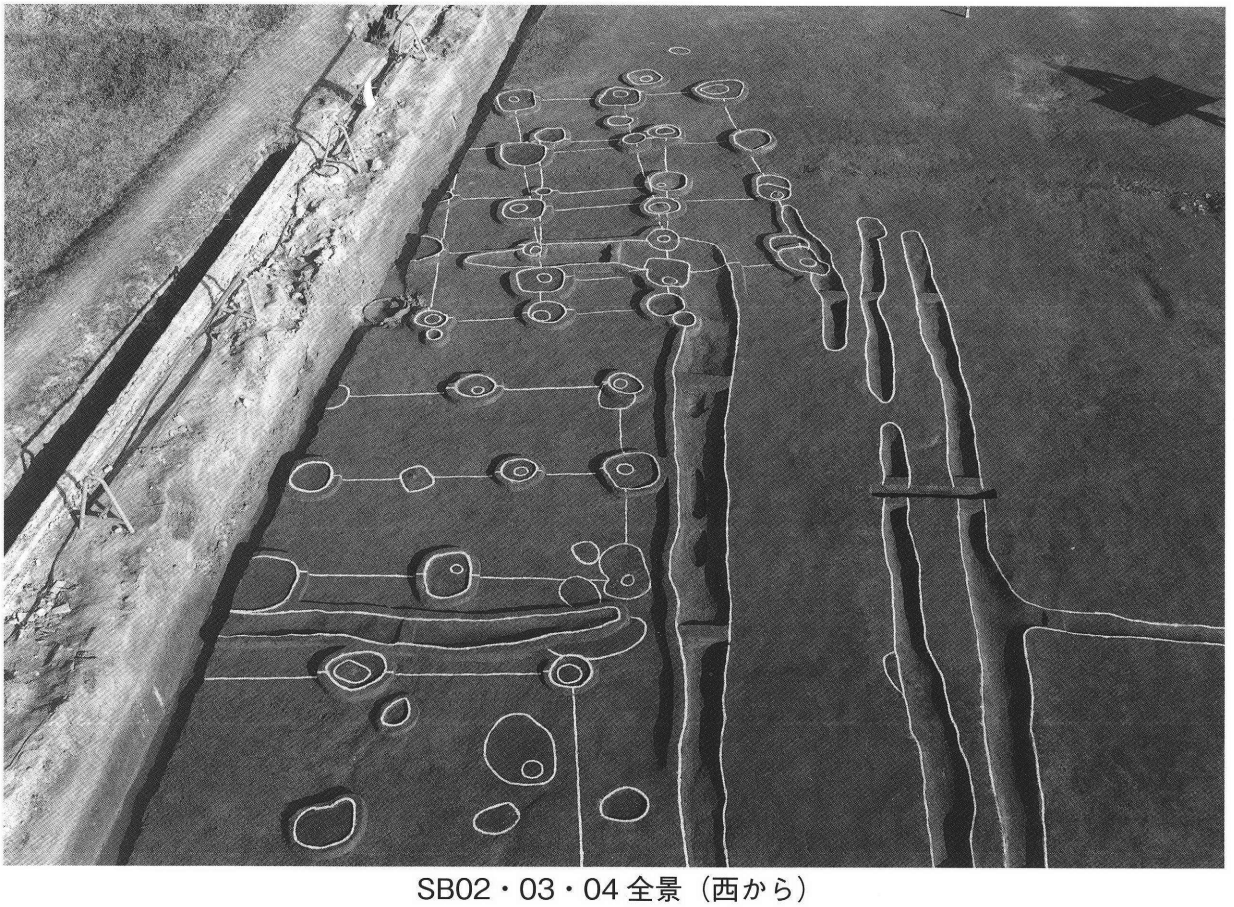


SB02（Pit06）土層断面（東から）



SB02（Pit09）土層断面（東から）

SB02（Pit09）遺物出土状態（東から）



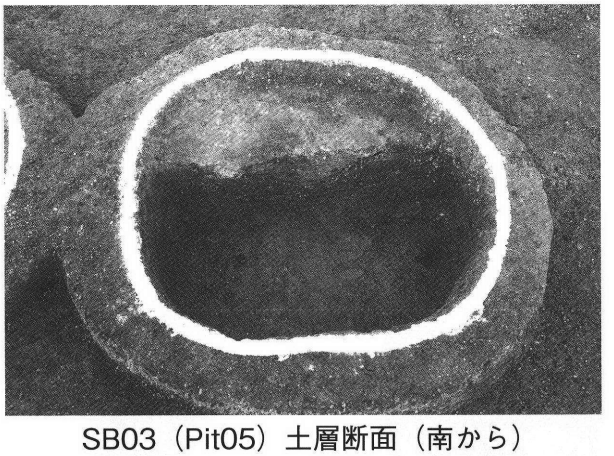
SB02・03・04 全景（西から）

図版6

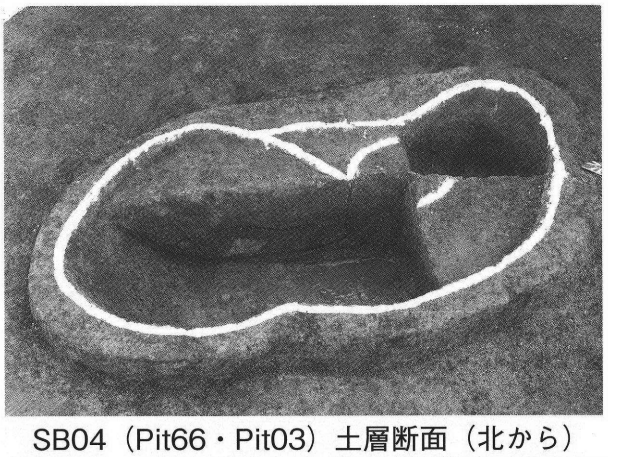
SB02・03・04 全景（南から）

SB03・04 全景（南から）

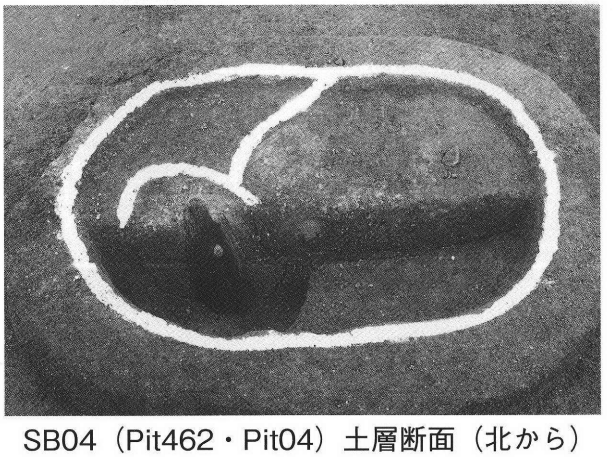
SB03・04 全景（南西から）



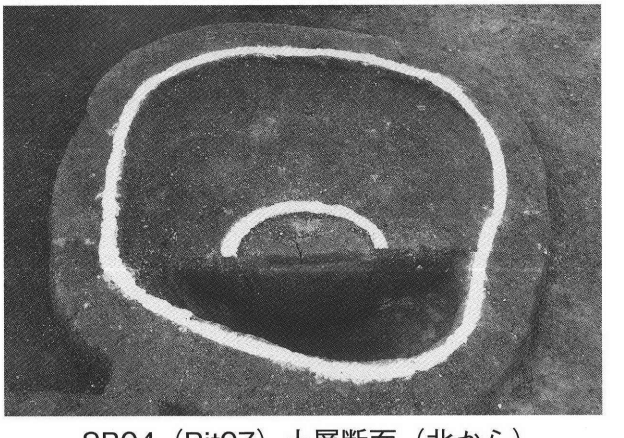
SB03（Pit05）土層断面（南から）



SB04（Pit66・Pit03）土層断面（北から）



SB04（Pit462・Pit04）土層断面（北から）



SB04（Pit07）土層断面（北から）